



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋 上場取引所 東  
 コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 椋本 充士  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・グループ統括室担当執行役員 (氏名) 井坂 匡伸 TEL 06-6683-1222  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,461	7.4	△106	—	△82	—	△141	—
2025年3月期第1四半期	9,738	19.0	124	—	140	—	43	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △155百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△6.19	—
2025年3月期第1四半期	1.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	31,804	9,096	28.1	390.71
2025年3月期	31,457	9,412	29.4	404.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,937百万円 2025年3月期 9,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	1.0	1,070	12.9	1,000	6.6	600	△7.6	26.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	22,910,275株	2025年3月期	22,910,275株
2026年3月期1Q	36,250株	2025年3月期	36,250株
2026年3月期1Q	22,874,025株	2025年3月期1Q	22,874,025株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などを背景に景気は緩やかな回復が続いております。しかしながら、米国の政策動向や、為替相場の不安定な推移、地政学的リスクに起因するエネルギー資源や原材料価格などの高騰もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調であるものの、原材料の価格高騰、光熱費等様々なコストの上昇、人手不足による人件費の増加が継続しており、事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは2025年5月に2030年3月期を最終期とする5ヶ年の「中期経営計画」を公表し、グループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、将来にわたって持続的に成長する企業グループであること目指して、グループ一丸となって事業収益の最大化を図るため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求し続けてまいりました。また、1970年の大阪万博以降に拡大する外食産業を中心に成長してきた当社グループとして、今回の大阪・関西万博に積極的に参加し、祖業とも言える手打ちうどんや創業の地である大阪の食文化を支える全国の産地の食材等の魅力を伝えております。これにより、大阪・関西万博に関連する費用を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、外食産業だけでなく幅広くフードビジネスを展開する企業グループとしての認知度を高め、新たなビジネスチャンスやパートナーを探索しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高104億61百万円（前年同期比7.4%増）、営業損失1億6百万円（前年同期は営業利益1億24百万円）、経常損失82百万円（前年同期は経常利益1億40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億41百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (レストラン事業)

レストラン事業においては、客数回復と収益性向上を重視した方針のもと、ピーク時間帯の効率化やオペレーション改善による回転率の向上、季節メニューの導入やSNSを活用した促進による集客強化、原材料価格高騰への対応として杵屋、井井亭などのメニュー改定等に取り組むことにより、売上高の増加及びコスト削減を推進してまいりました。しかしながら、米をはじめとする原材料価格の高騰や人手不足による人件費の上昇は想定以上のものであり、利益を圧迫する結果となりました。

店舗の出退店等につきましては、新店は和食部門の「大阪木津市場 天はな」1店舗であります。業態変更は1店舗、退店は5店舗であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、34都道府県に371店舗（フランチャイズ店舗88店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は62億9百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント損失18百万円（前年同期は1億28百万円の利益）となりました。

#### (機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングにおいては、コロナ禍を脱し、業績が急回復した前年度に続き、今後も国際便の増便が見込まれる関西国際空港の需要に応えるべく、生産体制の改善と更なる効率化に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましても、国際線の航空需要の増加に伴い機内食の搭載食数が増加するとともに、生産体制の効率化を進めたことにより増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は20億28百万円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益2億12百万円（前年同期比120.1%増）となりました。

#### (業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒウェルネスフーズにおいては、業界有数の地位を占める冷凍おせちの製造に加えて、働く世代向けの冷凍宅配弁当市場でのODM事業の拡大を進めております。当第1四半期連結累計期間におきましては、冷凍弁当の受注が増え、増収となりましたが、今後の更なる増産体制を整えるべく製造ラインの改修工事等の関係で粗利率の高い冷凍おせちの製造の開始が前年より遅れたことから減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は11億89百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント損失92百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率は堅調に推移しているものの、市場に隣接する飲食店向け区画をなわ筋線建設工事に伴い順次閉鎖していることに加え、固定資産税等のコスト増加により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は1億69百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益22百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

## (運輸事業)

水間鉄道㈱においては、運賃改定及び各種イベント実施等の効果により旅客運賃収益が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億17百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント損失4百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

## (その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収となりましたが、原材料費率が上昇したことから減益となりました。日本食糧卸売㈱で展開しております米穀卸売事業は、精米及び炊飯の販売数量が大幅に増加したことにより増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は7億47百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益23百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は95億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加いたしました。これは主に売掛金1億58百万円の増加によるものであります。固定資産は222億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具1億51百万円の増加、建設仮勘定48百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、318億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億46百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は88億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億50百万円増加いたしました。これは主に買掛金55百万円の増加、短期借入金7億円の増加、未払金21百万円の増加、未払消費税等42百万円の増加によるものであります。固定負債は138億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少いたしました。これは主に長期借入金1億65百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、227億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億62百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は90億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払い1億60百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失1億41百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.1%（前連結会計年度末は29.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,070,733	4,940,311
預け金	442,524	415,708
売掛金	2,431,480	2,589,712
商品及び製品	375,673	438,481
原材料及び貯蔵品	441,692	479,027
短期貸付金	115,716	115,654
未収入金	261,488	102,791
未収消費税等	85,991	107,709
その他	212,812	396,398
貸倒引当金	△1,234	△1,039
流動資産合計	9,436,877	9,584,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,820,921	28,853,202
減価償却累計額	△22,142,314	△22,166,222
建物及び構築物(純額)	6,678,606	6,686,979
機械装置及び運搬具	3,547,723	3,710,275
減価償却累計額	△2,648,033	△2,658,667
機械装置及び運搬具(純額)	899,690	1,051,608
工具、器具及び備品	2,117,609	2,152,752
減価償却累計額	△1,674,761	△1,679,875
工具、器具及び備品(純額)	442,848	472,877
土地	7,726,211	7,726,211
建設仮勘定	127,909	176,907
有形固定資産合計	15,875,266	16,114,583
無形固定資産		
のれん	141,616	130,133
その他	124,766	119,168
無形固定資産合計	266,382	249,301
投資その他の資産		
投資有価証券	914,834	903,234
長期貸付金	245,717	241,647
差入保証金	4,316,088	4,313,059
繰延税金資産	340,659	340,479
その他	80,667	76,210
貸倒引当金	△18,565	△18,565
投資その他の資産合計	5,879,402	5,856,066
固定資産合計	22,021,050	22,219,951
資産合計	31,457,928	31,804,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,434,014	1,489,014
短期借入金	1,200,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	※2 2,262,030	※2 2,225,582
未払金	563,326	584,674
未払費用	1,505,323	1,520,146
未払法人税等	66,712	47,767
未払消費税等	222,791	265,564
賞与引当金	167,062	170,383
資産除去債務	136,283	144,026
その他	433,215	494,256
流動負債合計	7,990,760	8,841,416
固定負債		
長期借入金	※2 10,483,197	※2 10,317,994
長期未払金	9,738	9,738
繰延税金負債	1,058,430	1,060,202
退職給付に係る負債	86,242	83,645
資産除去債務	1,678,168	1,665,112
その他	738,844	729,716
固定負債合計	14,054,620	13,866,409
負債合計	22,045,381	22,707,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,345,288	8,345,288
利益剰余金	694,179	392,453
自己株式	△35,493	△35,493
株主資本合計	9,103,974	8,802,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,952	91,341
為替換算調整勘定	39,903	39,792
退職給付に係る調整累計額	3,683	3,649
その他の包括利益累計額合計	142,539	134,783
非支配株主持分	166,033	159,851
純資産合計	9,412,547	9,096,882
負債純資産合計	31,457,928	31,804,709

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,738,377	10,461,266
売上原価	6,139,492	6,860,038
売上総利益	3,598,885	3,601,227
販売費及び一般管理費	3,473,971	3,707,377
営業利益又は営業損失(△)	124,913	△106,150
営業外収益		
受取利息	1,339	4,478
受取配当金	22,754	22,786
賃貸料収入	40,472	44,313
その他	15,746	18,535
営業外収益合計	80,312	90,114
営業外費用		
支払利息	43,263	44,579
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	20,410	20,721
その他	317	92
営業外費用合計	64,991	66,392
経常利益又は経常損失(△)	140,234	△82,428
特別利益		
固定資産売却益	—	409
保険差益	—	27,211
特別利益合計	—	27,620
特別損失		
固定資産除却損	6,309	22,530
その他	11,744	9,018
特別損失合計	18,053	31,548
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	122,181	△86,357
法人税等	78,397	55,347
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,783	△141,704
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△181	△97
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43,965	△141,607

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,783	△141,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,053	△13,638
為替換算調整勘定	28,871	△168
退職給付に係る調整額	109	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	△719	—
その他の包括利益合計	24,208	△13,841
四半期包括利益	67,992	△155,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,087	△149,364
非支配株主に係る四半期包括利益	10,904	△6,181

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

## 1 保証債務

他の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
社会福祉法人ジー・ケー社会貢献会	310,560千円	304,530千円

## ※2 財務制限条項

(1) 当社は、2018年6月26日付けで㈱三井住友銀行をアレンジャーとする、既存取引4行によるコミット型シンジケートローン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日時点の単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、当該事業年度の直前の事業年度末日時点の単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額以上に維持すること
- ② 2019年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における(但し、2021年3月期は除く)、単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと  
上記財務制限条項のほか、担保制限条項が付されております。

(2) 当社は、2025年3月26日付けで㈱三井住友銀行をアレンジャー、㈱三菱UFJ銀行をジョイント・アレンジャーとする、既存取引5行によるコベナンツ型シンジケートローン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、当該事業年度の直前の事業年度末日における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額以上に維持すること
- ② 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の損益計算書に記載される経常損益を2回連続して損失としないこと

(3) 当社は、2025年3月26日付けで㈱三井住友銀行とコミットメントライン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、当該事業年度の直前の事業年度末日における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額以上に維持すること
- ② 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の損益計算書に記載される経常損失を2回連続して損失としないこと

(4) 当社は、2025年3月31日付けで㈱三菱UFJ銀行とコミットメントライン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 2025年3月決算期を初回とする各年度決算期の末日における単体の貸借対照表に示される純資産の部の合計額について、前年度決算期の末日における単体の貸借対照表における純資産の部の合計額の75%以上とすること
- ② 2025年3月決算期を初回とする各年度決算期の末日における単体の損益計算書に示される経常損益の金額について、2期連続して経常損失としないこと

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	255,189千円	250,618千円
のれんの償却額	16,359千円	11,482千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	6,009,420	1,665,699	1,158,686	—	60,948	8,894,755	618,001	9,512,757	—	9,512,757
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	51,364	51,364	—	51,364	—	51,364
顧客との契約から生じる収益	6,009,420	1,665,699	1,158,686	—	112,313	8,946,120	618,001	9,564,121	—	9,564,121
その他の収益 (注) 4	—	—	—	174,255	—	174,255	—	174,255	—	174,255
外部顧客に対する売上高	6,009,420	1,665,699	1,158,686	174,255	112,313	9,120,376	618,001	9,738,377	—	9,738,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	46,676	2,708	—	8,108	57,493	191,428	248,921	△248,921	—
計	6,009,420	1,712,376	1,161,394	174,255	120,421	9,177,869	809,430	9,987,299	△248,921	9,738,377
セグメント利益又は損失(△)	128,772	96,604	△20,264	33,036	△5,151	232,997	△9,833	223,164	△98,250	124,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,250千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	6,209,306	2,028,547	1,189,283	—	67,255	9,494,393	732,561	10,226,954	—	10,226,954
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	50,199	50,199	14,444	64,643	—	64,643
顧客との契約から生じる収益	6,209,306	2,028,547	1,189,283	—	117,455	9,544,592	747,005	10,291,598	—	10,291,598
その他の収益 (注) 4	—	—	—	169,668	—	169,668	—	169,668	—	169,668
外部顧客に対する売上高	6,209,306	2,028,547	1,189,283	169,668	117,455	9,714,260	747,005	10,461,266	—	10,461,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	45,814	450	—	8,452	54,717	170,706	225,424	△225,424	—
計	6,209,306	2,074,362	1,189,733	169,668	125,907	9,768,977	917,712	10,686,690	△225,424	10,461,266
セグメント利益又は損失(△)	△18,979	212,642	△92,553	22,944	△4,293	119,761	23,968	143,729	△249,879	△106,150

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,879千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。